

町内の中学校で体育祭開催

5月18、19日に町内の中学校で体育祭が開催されました。新学年になり練習期間も短い中、クラス対抗リレーやダンス・マスゲームなど日ごろの練習成果を発揮しました。

蘇陽中学校

全力疾走 ～最高の smile みんなで enjoy 本気で try!!～



お兄ちゃん、お姉ちゃんに手を引かれて



熱気あふれる応援合戦



「絶対に成功させるぞ！」

清和中学校

最強の絆52 ～競い合え勝利への道～



気持ちを引き締めて選手宣誓



数秒間に一点集中、全力疾走!!



多彩な踊りのマッチョダンス

矢部中学校

勇躍 ～自分の限界に挑め～



バトンにクラスの思いを込めて



気迫のこもるソーラン節



∞(限界)に挑戦! 雨雲なんて吹き飛ばせ!

原さん いつもありがとう。

～在校生から感謝状～

蘇陽南小学校の図書館には原文庫と呼ばれる本棚があります。これは、馬見原小学校(当時)に在学されていた原蔵さんが小学生に色んな本を読んでもらい、考える力・豊かな心を育ててもらいたいと寄贈されている本です。原さんは馬見原小学校へ1年生の頃通われていましたが、お父さんの転勤により転校されました。お父さんが生前、退職後は馬見原へ戻りたいと希望されていたことや、当時生まれ育ったふるさとへ何か恩返ししたいという思いから小学校へ本を寄贈されています。5月21日、蘇陽南小学校へ訪問した原さんに、児童を代表して6年の田中千尋さんから感謝状が贈られました。



体験を通してこそ、得るものがある

5月に入り、町内の学校や施設で子どもたちを対象にした体験行事が数多く開催されました。

初めての器づくりにチャレンジ



5月23日、潤徳小学校の学童保育「どんぐり楽校」で児童10人が陶芸づくりを体験しました。これは学童保育の場所を提供されている方が、趣味を生かして外で遊べない時の活動の一環として今回実施されました。陶芸づくりの説明を受けた児童は、カップや皿など思い思いの作品を作りました。陶芸づくりを指導された方は、「始めは子どもたちが作りきれぬ心配でしたが、子どもたちの思わぬ発想は自分も勉強になった。」と話されました。児童たちは出来上がりを楽しみにしています。



これが美味しいお茶になるのかあ

5月9日、藤原徳門さんの茶園で中島小学校児童を対象にした茶摘み体験が実施されました。今回、茶摘みには1～2年生16人が参加しました。藤原さんの息子さんから茶摘みのやり方を教わった児童たちは、早速茶園へ行き実際に茶摘みを体験しました。そのほか、乗用の茶摘み機への試乗体験や、お茶で作られたお菓子などを頂いた児童たち。帰り際には藤原さんから児童たちへ、今年摘まれたばかりの新茶がプレゼントされました。



美味しいお米が出来ますように

5月28日、蘇陽南小学校児童による田植え体験が実施されました。この田植え体験は馬見原東部老人クラブの世代間交流の一環として毎年実施されています。今回の田植えには5年生児童10名が参加。始めは泥に入って動きがごちなかった児童たちもすぐに上達し、1時間ほどで一枚の田んぼに植え終わりました。老人クラブ会長の古川さんは、「子どもたちの田植えの上達する早さには驚きました。たまには自分が植えた稲の成長を見に来てください。」と児童へ話されました。

